



ALSOプロバイダーコース

～ 杏林大学医学部附属病院 ～

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国、16万人以上がALSOコースを完了した。

プロバイダーコースは二日間で行われる。コースの内容は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）がコースに含まれている。ALSOは分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調している。必須学習内容はマタニティケアにおける安全性、難産、妊娠初期の合併症、妊娠の内科的合併症、早産と前期破水、妊娠後期の性器出血と、症例検討を含む分娩中の胎児監視、妊娠の内科的合併症、そして（以下少人数グループによる実技トレーニングを含む）肩甲難産、補助経膈分娩、骨盤位分娩、分娩後大出血、妊婦の心肺停止である。またコースによっては、オプション・ワークショップとして会陰縫合、超音波検査、出産危機への対処などが追加される。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合受講者はAAFPの認定する5年間有効の認証を受けることができる。また、プロバイダーコースの講師になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国38の都道府県でコースが開催され、コース修了者は7,000名を超えた（2017年3月31日時点）。参加者は産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSO である。

ALSO-Japan事業執行部

ALSO プロバイダーコース in 杏林大学医学部付属病院

主 催：杏林大学医学部付属病院、NPO法人 周生期医療支援機構（OPPIC）

場 所：杏林大学医学部付属病院（東京都三鷹市）

日 時：平成 30 年 5 月 4 日（金）、5 月 5 日（土）

定 員：30名

参加費：37,000円 ※支払方法は受講可否とあわせて通知します。

※ 同施設内のグループ参加（特に医師・助産師のペア）を優先します。

申込方法：下記URL（Googleフォーム）よりお申込みください。

なお、記入事項不備の場合は申込を受理できません。

お申込みから 1 週間以内に、確認メールをお送りします。

確認メールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

申込みフォーム：<https://goo.gl/forms/vzWihFOSwqST8xCi2>

募集期間：平成30年2月19日（月） ～ 平成30年3月2日（金） 17：00

※ ランチョンセミナー開催のため、昼食時に外出ができません。

受講者全員にお弁当をご用意いたします。

ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせくださいませ。

【問い合わせ先】

特定非営利活動法人 周生期医療支援機構

ALSO-Japan事務局

E-mail：jimu@also-japan.com または shuseiki3@gmail.com

【ご宿泊について】

ご宿泊先は各自にてご手配ください。なお、本コースはゴールデンウィーク中の開催となります。ホテルが取りづらくなることも予想されますので、お早めに宿泊先を確保されることをお勧めいたします。

会場までのアクセス等については各自ご確認くださいませようお願いいたします。

2018 ALSOプロバイダーコース in 杏林大学 コーススケジュール

2018 ALSO-JAPAN PROVIDER COURSE DAY 1	
5月4日(金)	
8:00 AM – 8:30 AM	受付
8:30–8:50 AM	オープニング & プレテスト
8:50 AM –9:50 AM (60分)	L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性
10:00 AM –12:00 AM (2時間00分)	E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例検討
0:00 PM – 1:00 PM (60分)	ランチ (0:20 PM – 0:50 PM ランチョンレクチャー) F: Labor Dystocia 難産
1:00 PM – 2:20 PM (1時間20分)	H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩
2:30 PM – 3:40 PM (1時間10分)	I: Shoulder Dystocia 肩甲難産
3:50 PM – 6:20 PM (2時間30分)	J: Post Partum Hemorrhage 分娩後大出血 & 妊婦蘇生
2018 ALSO-JAPAN PROVIDER COURSE DAY 2	
5月5日(土)	
復習タイム7:45～8:20	
8:30 AM – 9:30 AM (1時間)	G: Malpresentations/Malposition プレゼンテーション異常・ポジション異常
9:40 AM – 10:10 AM (30分)	A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
10:20 AM – 12:00 AM (1時間40分)	B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例検討
0:00 PM – 1:00 PM	ランチ & ランチョンレクチャー (0:20 PM – 0:50 PM) D: Preterm Labor and PROM 早産と前期破水
1:00 PM – 1:30 PM (30分)	C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
1:30PM – 1:50PM	写真撮影
2:00 PM –4:30 PM	筆記試験、実技試験(メガデリバリー)
エンディングマーク	